

第 24 回北東アジア港湾局長会議

(10 月 30 日 (水) 中国・秦皇島市, FIRA LEISURE TOURISM RESORT)

出席者

- 日本 (国土交通省大臣官房技術参事官 安部 賢をはじめ 15 名)
- 中国 (交通運輸部水運局長 楊 華雄をはじめ 19 名)
- 韓国 (海洋水産部港湾局長 南 載憲をはじめ 13 名)

主要議事

(ア) 「日中韓における高水準の安全性を確保した港湾の発展」をテーマとした情報交換

発表者：韓国) 海洋水産部港湾局長 南 載憲 (ナム・ジェホン)

「Strategies for Building Disaster-Safe Ports and
Carbon-Neutral Ports to Address Climate Change」

日本) 国土交通省大臣官房技術参事官 安部 賢

「Measures for Disaster Prevention and Mitigation at Ports
and Harbors in Japan」

中国) 交通運輸部水運局長 楊 華雄 (ヤン・ファッション)

「Report on the development of China's ports」

(イ) 共同研究の報告

作業部会で取り組んでいる以下の 6 つの共同研究テーマについて、作業部会を代表して、中国交通運輸部水運局 姚飛 (ヤオ・フェイ) 課長が進捗状況や今後の取り組みについて報告を行いました。

- ・ 気候変動による港湾災害の影響と緩和策 (韓国提案)
- ・ 北東アジアにおけるコロナ禍、アフターコロナにおけるクルーズ連携 (日本提案)
- ・ 港湾における気候変動適応策の実装 (日本提案)
- ・ 北東アジアにおけるスマートポートの評価制度に関する研究 (中国提案)

また、三ヶ国の研究所が共同で行っている以下の研究について進捗報告がなされました。

- ・ グリーンポート技術の研究 (日・中・韓)
- ・ 中国、日本、韓国の危険物コンテナの安全輸送技術に関する運用制度の研究 (日・中・韓)

(ウ) 第 25 回北東アジア港湾局長会議

次回開催国である日本より、第 25 回北東アジア港湾局長会議を 2025 年に日本の青森県で開催することが提案され、三ヶ国の間で合意されました。

(参考)

北東アジア港湾局長会議は、1995 年から 1999 年の間、年 1 回開催されていた日韓港湾局長会議をベースに、2000 年より中国が加わり拡大したもので、三ヶ国の港湾の発展のため港湾行政全般にわたり広範に意見の交換、知見の共有を行うもの